

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費 節・細節：38 車両修繕費	所属：車両課 担当者：奥田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	930,385	674,101	256,284

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

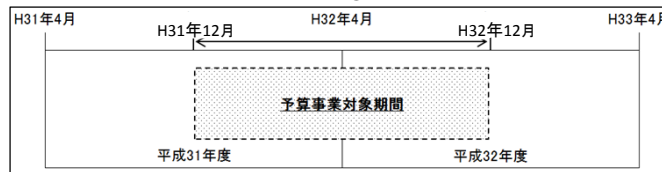
(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
1 3000形車両 重要部・全般検査用材料調達事業	97,345

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部保全・全般保全検査において、車両の安全運行確保と性能維持のため、定期交換が必要となる各装置の部品を購入します。

- 26年度～30年度の購入実績単価及び見積を用いて、各種部品の使用予定数量から予算金額を算出した。
- 31年度予算事業対象期間:31年度下期(平成31年10月～平成32年3月) ～ 32年度上期(平成32年4月～平成32年9月)
- 対象編成数: 31年度下期(平成31年10月～平成32年3月) : ①重要部保全検査 4編成 ②全般保全検査 1編成
32年度上期(平成32年4月～平成32年9月) : ②全般保全検査 6編成 ③新重要部検査 1編成
合 計 : ①重要部保全検査 4編成 ②全般保全検査 7編成 ③新重要部検査 1編成



定期検査別材料部品費用

項目	検査別材料費(1編成当たり)		
	①重要部保全	②全般保全	③新重要部
台車部品			
制御・電動空気圧縮機部品			
制御・一般電気部品			
戸閉装置部品			
車体部品			
税抜金額			
税(10%)			
合計金額			

事業費用(10%税込)

項目	単価	数(編成)	金額
①重要部保全検査用材料			
②全般保全検査用材料			
③新重要部検査用材料			
合計金額		12	97,345

年度別積算金額(税込)

項目	29年度(8%)	30年度(8%)	31年度(10%)
①重要部保全検査用材料	57,420	0	
②全般保全検査用材料	0	0	
③新重要部検査用材料	—	—	
合計金額	57,420	0	97,345



重要部・全般検査 画像1



重要部・全般検査 画像2

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両実施基準による各部品の使用限度および交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 3000形車両 列車検査・月検査用材料調達事業	40,776

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する列車検査・月検査において、車両の安全運行確保と性能維持のため、定期的な交換が必要となる消耗品や摩耗品を購入します。

積算金額		
項 目	金 額(税込)	備 考
制御・一電部品		蛍光灯、前照灯等
車体・空調部品		錠、継電器等
空制・台車部品		制輪子等
集電・回転部品		集電靴、軸ブラシ等
合計金額	40,776	



月検査 画像1



月検査 画像2

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
3 3000形車両 車輪購入事業	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部保全・全般保全検査において、車両の安全運行確保と性能維持のため使用限度に達した車輪を新品に交換します。

入場車両別 必要車輪必要数

車両形式	編成	必要車両数	数/車両	交換数量	
3000N形	33F	0	8	0	
	32F	1		8	
3000S形	60F	1		8	
3000A形	28F	0		0	
	27F	2		16	
	31F	0		0	
3000N形	36F	1		8	
	37F	0		0	
3000A形	30F	5		40	
	29F	5		40	
3000N形	38F	0		0	
	39F	6		48	
合 計				168	

<車輪新品径> 860mm
 3000A形出場限度
 M車 800mm
 T車 805mm
 3000N形出場限度
 M車 800mm
 T車 810mm
 3000R形出場限度
 M車 800mm
 T車 800mm
 3000S形出場限度
 M車 810mm
 T車 810mm

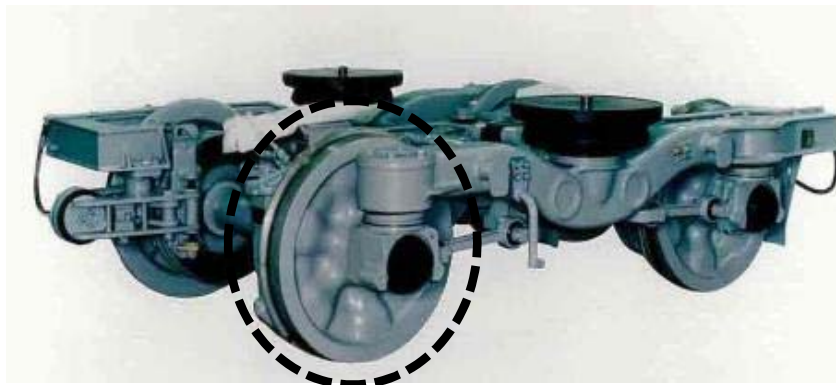
購入数 積算

交換数量①	安全在庫②※	在庫数③	購入数(①+②-③)
168	16	0	184

(※安全在庫とは、異常摩耗等の際、急な交換必要時に備えて確保しておく在庫のことです。)

積算金額

項目	数(枚)	単価	小計
車輪購入	184	[Redacted]	[Redacted]
	税(10%)	[Redacted]	[Redacted]
	合計金額	[Redacted]	[Redacted]



台車・車輪 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両実施基準による、各部品の使用限度および交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 奥田	

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
4 3000形車両 空気バネ組立購入事業	

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部保全・全般保全検査において車両の安全運行確保と性能維持のため使用限度に達した台車の部品を購入するものです。

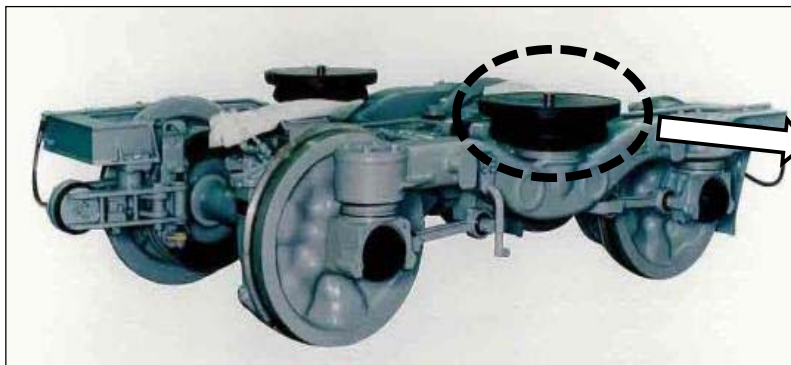
この台車は、積層ゴム付き空気バネと牽引装置にZリンク式を採用した軽量ボルスタレス台車です。軸箱支持装置には、リンクを採用して構造の簡略化、重量軽減及び乗り心地の向上を図ったモノリンク式を採用しています。

主軸受は、保守容易な複列円筒コロ軸受を使用しています。基礎ブレーキ装置はディスクブレーキ方式を、車輪は、キシリ音低減を図るためゴム付丸リング防音波打車輪を採用しています。

空気バネの交換作業は車体と台車を分離しないとできないため、重要部保全・全般保全検査工程に合わせて実施しており、乗り心地の維持のため使用限度に達した空気バネを交換します。

空気バネ交換年度別積算金額 (1編成あたり 24個)

項 目		31年度		32年度	
車両形式	単価	数	小計	数	小計
3000R		48		72	
税抜金額					
税(10%)					
合計金額					



台車 画像



空気バネ 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両実施基準による各部品の使用限度および交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
5 3000A形車両牽引装置部品購入事業	[Redacted]

(1) 事業目的・内容

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部保全・全般保全検査において車両の安全運行確保と性能維持のため使用限度に達した牽引装置の部品を購入するものです。
 牽引装置は、車体支持機構の一部で車体に駆動力、制動力を伝える、車両の乗り心地や安全走行を確保するための重要な装置です。この装置の中で使用している一本リンク用ゴムブッシュとゴム座については経年でゴムの劣化及びバネ定数が使用限度に達するため交換が必要です。
 また、この部品を交換するには車体と台車を分離し牽引装置を分解しないと交換できないため、全般・重要部保全検査に合わせて実施します。
 平成31年度は、対象期間である平成31年後期(2編成)から平成32年前期(2編成)に入場する4編成分を購入します。
 平成32年度は、対象期間である平成32年後期から平成33年前期に入場する1編成分を購入します。



○内訳

牽引装置部品交換表: 3000A形車両(全8編成) (単位:千円)

項目	1式/編成	31年度	32年度
牽引装置部品		4	1
税抜金額			
税(10%)			
合計			

(2) 前年度から変更・見直した点

Technical drawings and photos of parts to be replaced. Labels include: ケン引リンク受座, 左右動ストッパー座, 安全ツリピン, 左右ストッパーゴム, ケン引リンク (1本リンク), 左右動ダンパ, ケン引体, ゴム座, ゴムブッシュ.

1編成当たりの内訳		(単位:千円)	
項目	1編成使用数	単価	金額
ゴム座	24		
ゴムブッシュ	12		
小計			

(3) 根拠法令・規程、市営交通5か年プラン、「現場の意見」、10CCプロジェクトとの関係等)
 横浜市高速鉄道車両実施基準による各部品の使用限度および交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 奥田	

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
6 3000形車両 連結ホク購入事業	

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する、重要部保全・全般保全検査において使用限度に達した車体の部品を購入するものです。
 車両間に設置される連結ホクは、幌枠などの剛体部分と、幌布が幌骨で保持された可とう部分とにより構成されており、快適な乗り心地、車両の安全走行を確保するため重要な装置の部品です。
 経年劣化により補修不可能なため、入場車両の整備時に交換します。

項 目	1編成あたり5個		積算金額			
	編成	数	単価	税抜金額	税	税込金額
H31 前期	4編成分	20				
H31 後期	4編成分	20				
合計						



連結ホク 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令及び検査告示(第75条)

第七十五条 (貫通口及び貫通路の構造)

旅客車には、旅客が安全かつ円滑に通行することができる貫通口及び貫通路を設けなければならない。ただし、専ら車両一両で運転するものにあつては、この限りでない。施設の状況により非常時に側面から避難できない区間を走行する列車は、その最前部となる車両の前端及び最後部となる車両の後端(最前部が機関車である列車にあつては、車両の最後部となる後端)から確実に避難することができるものでなければならない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 奥田	

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
7 3000N/R/S形車両 蓄電池接触器更新事業	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン3000形車両には、停電時や第三軌条の無い場所でも蛍光灯などの車内設備に電源を供給できるように蓄電池を搭載しています。蓄電池接触器は、蓄電池と車両の回路を接続/切断するための機器で、列車の運行に欠かせない機器です。3000N/R/S形車両に搭載されている蓄電池接触器は、製造から時間が経過して故障件数が増加していますが、内部の部品がすでに製造中止となっており、今後修理が難しい状況です。そこで、新型車である3000V形に搭載した蓄電池接触器と同形の接触器に交換し、故障件数の低減を図ります。

年度別施行数および積算金額

	29年度	30年度	31年度	合計
3000N形(全7編成)	7	—	—	7
3000R形(全14編成)	3	9	2	14
3000S形(全8編成)	—	1	7	8
施行数計	10	10	9	29
単価	1,202	1,072		
税抜金額	12,020	10,720		
税(29/30年度:8% 31年度:10%)	962	858		
合計金額	12,982	11,578		



3000形車両蓄電池外観 画像



3000形車両蓄電池外観 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
8 3000S形車両 駆動装置歯車形軸継手購入事業	0

(1 事業目的・内容)

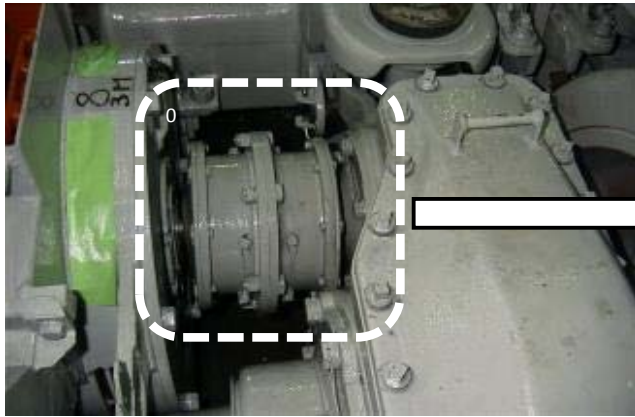
車両の安全運行確保と性能維持を目的として3000S形車両駆動装置歯車形軸継手を購入します。

駆動装置は主電動機の回転力を車軸に伝達する装置で、主電動機が車軸と平行に台車へ装架され、主電動機の出力軸と歯車装置の入力軸が歯車形軸継手で連結される平行カルダン方式です。台車の軸バネたわみ変化及び輪軸の左右動等により両軸に生じる変位は歯車形軸継手が可動することにより円滑な運転ができる構造になっています。

歯車形軸継手は製造より29年が経過し、各部の摩耗が著しく、継手の振れ回り振動が大きくなっており、その影響で車体振動が高速域で発生しています。騒音や振動の原因となる現行の歯車形軸継手を改良品(小径・軽量化継手)の歯車形軸継手に交換し、車両の安全運行確保と性能維持に努めます。

年度別積算金額

項目	30年度	31年度	32年度	合計
施行数(3000S形全8編)	6編成	1編成	1編成	8編成
個数 (1編成あたり16個)	96	16	16	128
単価	445			
税抜金額	42,720			
税(30年度:8% 31年度:10%)	3,418			
合計金額	46,138			



駆動装置 画像



歯車形軸継手 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両実施基準による各部品の使用限度および交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 奥田	

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
9 3000V形車両 予備品購入事業	

(1 事業目的・内容)

本件は、3000V形車両で発生した車体部品の不具合及びガラス割損等で交換する予備品を購入するものです。

積算金額			
項目	数(式)	単価	小計
3000V形車両予備品購入	1		
		税(10%)	
		合計金額	

前面窓ガラス(助手席側)

前面窓ガラス(運転士側)



前面貫通開戸ガラス

側引戸(分類1・2)



側開戸

側固定窓ガラス(小・大)



貫通引戸

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両実施基準による各部品の使用限度および交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
10 3000A/N/R形車両 ディスク板購入事業	

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部保全・全般保全検査において、車両の安全運行確保と性能維持のため使用限度に達したブレーキ装置のディスク板を新品に交換します。
 摩耗したディスク板は入場毎に削正していますが、次回入場(約5年間)まで使用できるよう出場限度を定めており、限度を割ったディスク板を交換します。

入場車両別 ディスク板必要枚数

車両形式	編成	交換数(枚)
3000A形	27F	8
	28F	4
	29F	6
3000N形	32F	16
	36F	8
	38F	16
3000R形	39F	2
合 計		60

<ディスク板新品径> 21~24mm

3000A形出場限度
 M車 17.3mm
 T車 13.1mm

3000N・R形出場限度
 M車 16.4mm
 T車 13.1mm

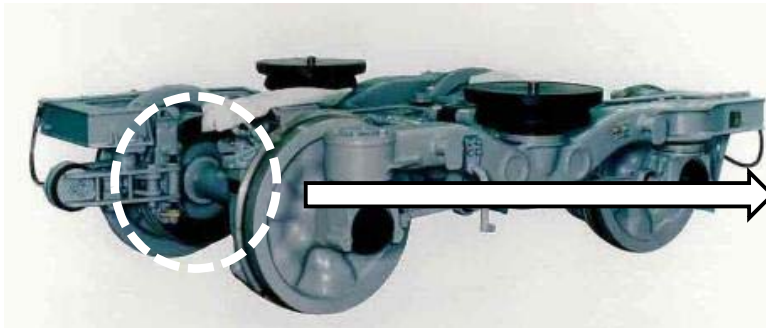
購入枚数 積算

交換数量①	安全在庫②※	在庫数③	購入数(①+②-③)
60	32	58	34

(※安全在庫とは、異常摩耗等の際、急な交換必要時に備えて確保しておく在庫のことです。)

積算金額

項目	数(枚)	単価	小計
ディスク板購入	34		
	税(10%)		
	合計金額		



台車 画像



ディスク板 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
11 3000S形車両 牽引バネ購入事業	4,778

(1 事業目的・内容)

牽引バネ組立は、前後の力を車体と台車枠の間で伝達する役割を持ち、当局地下鉄車両の台車には必要不可欠な部品になります。

現在、予備品が無く、緊急修理時の対応ができません。よって、快適な乗り心地及び車両の安全走行と性能維持を確保するため購入します。

※ 平成30年度契約済、平成31年度施行・支払

積算金額(平成31年度)			
項目	個数	単価	小計
3000S形車両牽引バネ	8	553	4,424
		税(8%)	354
		合計金額	4,778



車体吊り上げ 画像



牽引装置 画像



牽引バネ 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		4,778				4,778
債務負担設定	4,778					4,778

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 奥田	

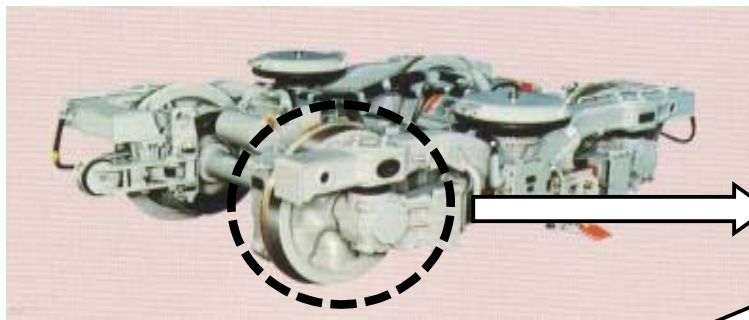
(単位:千円)

【 事業 内容 】	31年度予算額
12 3000形車両 軸バネ購入事業	

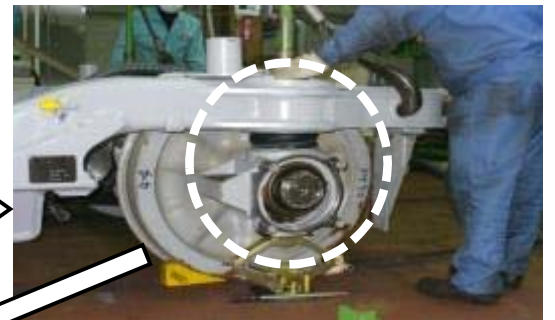
(1 事業目的・内容)

・「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部保全・全般保全検査において車両の安全運行確保と性能維持のため使用限度に達した軸箱支持装置の部品を購入するものです。
 車両の車軸を支える軸箱支持装置では軸受を内側に保持している軸箱と、その軸箱に付いている軸バネとで車両全体の重量や走行中の車両の揺れによる上下・左右方向の力を支えるもので車両の安全走行を確保するための重要な装置の部品です。この軸バネは通常の金属バネをゴムで覆ったタイプで防振及び防音の効果があります。
 軸バネの交換作業は台車を分解しないとできないため、全般・重要部保全検査工程に合わせて実施しており、軸バネの使用限度についてはバネ定数、荷重長、亀裂の長さ等で判断していますが、3000A形で25年使用しており、使用限度に達し交換するものが多く見込まれるため購入いたします。

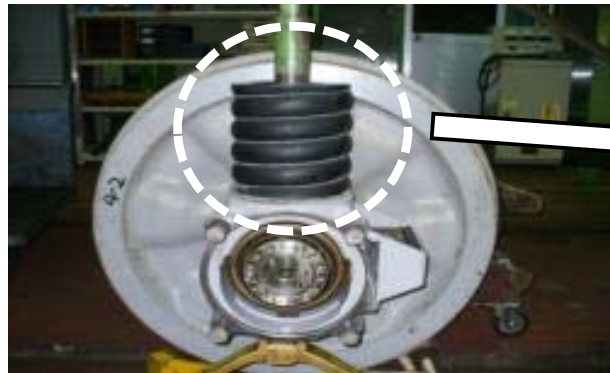
積算金額			
項目	個数	単価	小計
3000A形車両軸バネ	40		
3000N・R形車両軸バネ	20		
小計			
税(10%)			
合計金額			



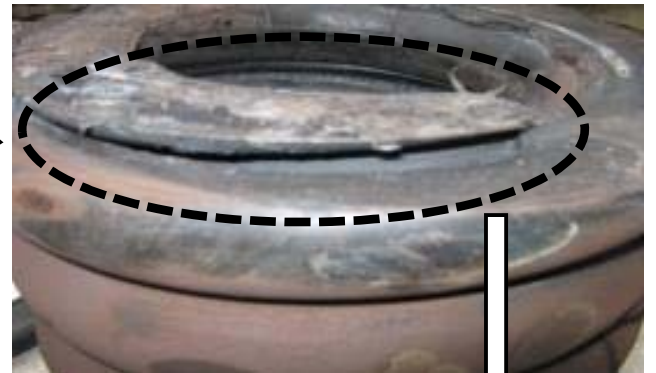
台車 画像



軸箱支持装置 画像



軸バネ 画像



軸バネ上部 画像

全体的にゴムが劣化し亀裂も発生している。
 バネ定数、荷重長についても使用限度に達している。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
13 3000形車両 重要部・全般保全検査等委託事業	392,805

(1 事業目的・内容)

鉄道車両の安全運行の確保と性能維持を目的として、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令及び「施設及び車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)」に基づき、各鉄道事業者が鉄道車両に関する基準及び検査周期等を定めた実施基準(横浜市高速鉄道車両実施基準)を届け出ており、この実施基準に定めた検査周期により実施する重要部保全検査・全般保全検査・新重要部検査等の業務を委託して行います。平成31年度から4年間の複数年契約としており、4年契約の1年目となります。

- (1)重要部保全検査(検査周期5年・60万km以内)
 - ア 車体と台車を分離し、床下機器を取り外して、台車等の非破壊検査・ブレーキ弁類の単体検査。
 - イ 動力発生装置・走行装置・基礎ブレーキ装置・制御装置・補助電源装置・その他の重要な装置の分解整備を行うと共に、摩耗部品の交換等も行います。
 - ウ 保安装置のATC装置・列車無線装置は製造業者による点検整備を行います。
 - エ 整備終了後に構内及び本線試運転を実施し、総合評価を行います。
- (2)全般保全検査(検査周期10年以内)
 - ア 重要部保全検査の内容に加え、ブレーキ弁類の部品交換、ゴムホース類の交換、車輪軸の軸受け交換。
 - イ 主電動機の分解整備等、車両全般にわたり検査します。
- (3)新重要部検査(検査周期5年・60万km以内)
 - ア 在姿による月検査レベルの機能検査を行い重要な装置の点検及び摩耗品の交換をします。
 - イ 保安装置のATC・ATO装置・YTM装置は製造業者による点検整備を行います。
- (3)特別整備
 - ア 空調装置の性能維持と臭い対策のため定期洗浄年2回。(4月使用前洗浄:10月中間洗浄:38編成×2回)
 - イ 冷房装置のロールフィルター交換及び空調ダクト清掃・吹出し口フィルターの交換。(全車)
 - ウ 3000R形車両の劣化した客室シートの張替え。
 - エ 3000AN形車両の劣化した銘板補修や塗油装置点検整備及びその他業務補助。

年度別施行数および積算金額

項目	単価	単位	31年度		32年度		33年度		34年度	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
重要部保全検査		式	1				1			
車体ほか		編成	7				1			
ATC装置(1)		編成					1			
ATC装置(2)		編成	7							
列車無線装置		編成	7				1			
全般保全検査		式	1	1	1	1	1	1	1	1
車体ほか		編成	1	7	7	7	7	7	8	8
ATC装置(1)		編成					1			
ATC装置(2)		編成	1	2	2	2			2	2
ATC装置(3)		編成		3						
ATC装置(4)		編成	1	5			5		6	6
ATC装置(5)		編成	2							
列車無線装置		編成	1	7	7	7	7	7	8	8
新重要部検査		式	1	1	1	1			1	1
車体ほか		編成	3	3	3	3			1	1
ATC装置		編成	3	3					1	1
特別整備		式	1	1	1	1	1	1	1	1
空調維持点検整備		編成	76	76	76	76	76	76	76	76
冷房装置RF交換		編成	38	38	38	38	38	38	38	38
ダクト清掃フィルター交換		編成	38	38	38	38	38	38	38	38
車体窓枠修理等		編成	7	2	2	2	6	6	7	7
客室シート張替		編成		2			5	5	7	7
その他業務補助等		式	1	1	1	1	1	1	1	1
税(H31前期まで8%、以降10%)		式	1	1	1	1	1	1	1	1
合計金額				392,805		410,864		444,957		469,680

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令及び施設及び車両の定期検査に関する告示
横浜市高速鉄道車両実施基準

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	301,144	392,805	410,864	444,957	469,680	1,718,306
債務負担設定		1,325,501				1,325,501

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位: 千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
14 3000A形車両補助電源装置改修事業	

(1 事業目的・内容)

3000A形車両補助電源装置は新車搬入から27年が経過しており、同装置は2007年に一部の装置を更新しています。車両の電源を作り出すための大切な装置である補助電源装置は更新後11年が経過していることから、機器の経年劣化による故障も増えているため、3000A形車両の延命と健全な車両の提供を目的に行う改修事業です。

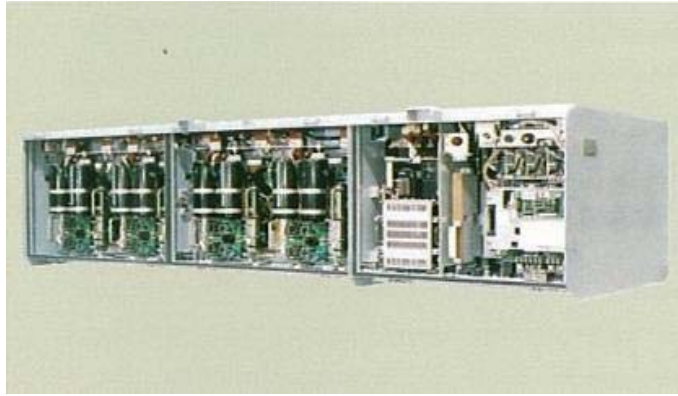
(2 前年度から変更・見直した点)

平成19年度改修後、11年経過
○内訳

(単位: 千円)

項 目	編 成	31年度	32年度	33年度
補助電源装置改修		2編成	3編成	3編成
税抜	8編成			
税				
改修金額				

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



3000A形 補助電源装置

○ブルーライン車両修繕計画(平成31年度～平成33年度) 合計 8編成施工

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
15 3000A形車両 VVVF制御装置予防保全事業	

(1 事業目的・内容)

本件は、車両の安全運行確保と性能維持を目的として3000A形車両制御装置に修繕を実施する業務委託です。
3000A形車両の制御装置は製造から約26年が経過し、経年劣化に起因する輸送障害や故障が散見されている。これらを未然に防止するために、予防保全を目的とした機器の修繕を行います。

数量

3000A形車両 8編成 (平成31年度に2編成、32年度に6編成の計8編成を施工)

内訳 (1編成当たり)

項目	数量	単位	単価	金額
部材費	1	式		
予防保全作業費	1	式		
光ファイバー交換作業費	1	式		
取り外し・取り付け作業費	1	式		
現地試験費	1	式		
小計				



積算金額 (2編成分 = 1編成当たり × 2編成)

項目	数量	単位	単価	金額
1編成当たり	2	編成		
税抜計				
消費税(10%)				
小計				

平成31年度と32年度の2か年間の複数年契約となります。
平成31年度に2編成、32年度に6編成の計8編成を施工します。

項目	数量		単位	単価	金額
	31年度	32年度			
3000A形車両 VVVF制御装置 予防保全事業	2	6	編成		
税抜計					
消費税(10%)					
小計					

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
16 3000形車両 ブレーキライニング張替修理事業	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

ディスクブレーキに使用しているブレーキライニング(パット)の使用限度管理値に達したものを、新品に張り替えます。平成29年度と同様の2,000枚を計上しました。

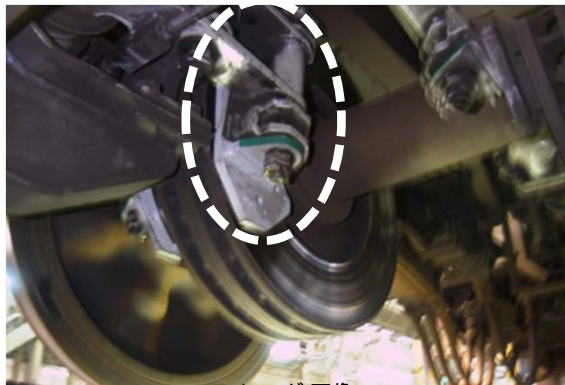
積算金額			
項目	数(枚)	単価	小計
ブレーキライニング張替	2,000		
税(8%)【300枚】			
税(10%)【1,700枚】			
合計金額			

※単価は平成29年度実績

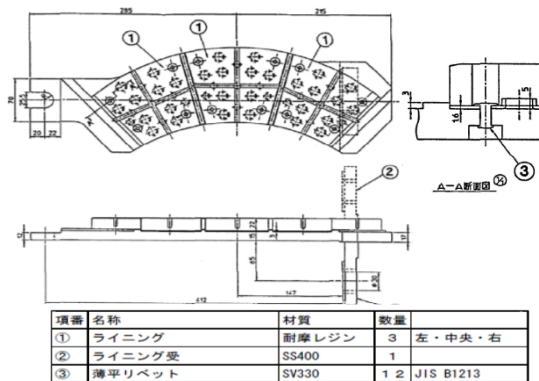
全般保全検査・重要部保全検査で新品ライニングと交換されます。このブレーキライニングを選定し、中古品として再利用を徹底しています。

ライニング使用基準

新品ライニング 厚さ	22mm
使用限度ライニング 厚さ	8mm



ライニング 画像



項番	名称	材質	数量	
①	ライニング	耐摩レジ	3	左・中央・右
②	ライニング受	SS400	1	
③	薄平リベット	SV330	1 2	JIS B1213

ライニング 図面

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 奥田	

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
17 3000N形車両 戸閉装置歯付ベルト交換修理事業	

(1 事業目的・内容)

戸閉装置は、駅到着時にお客さまが乗降される際、車両ドアの開閉を行う装置です。同装置内に装備されている、ドア開閉時に重要な歯付ベルトが経年劣化により、破断及び捻じれが発生しています。この状態では、ドア開閉に支障をきたす恐れがあり、お客さまを安全に乗降させることが出来なくなるため、本事業で歯付ベルトの交換を行います。

1編成あたり施行金額

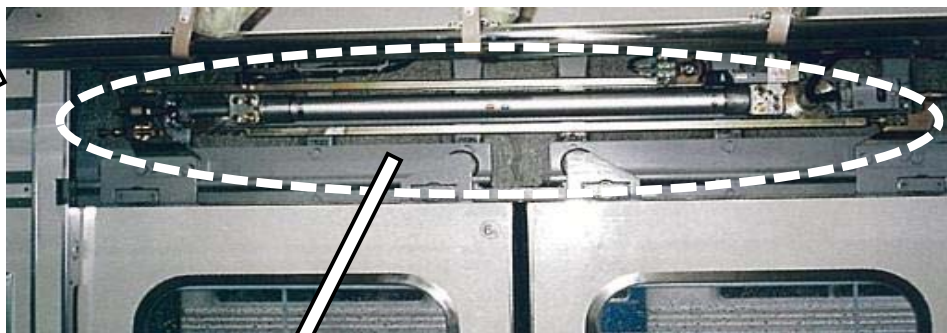
項目	単価
材料費	
労務費	
諸経費	
計	

積算金額

項目	数(式)	単価	小計
歯付ベルト交換	7		
	税(10%)		
	合計金額		



3000A形側開戸 画像



側開戸点検蓋内部 画像



歯付ベルト折損 画像1



歯付ベルト折損 画像2

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
18 3000形車両 妻引戸閉機改修事業	

(1 事業目的・内容)

本件は、車両の安全運行確保と性能維持を目的として3000形車両妻引戸(貫通扉)戸閉機に修繕を実施する業務委託です。
3000形車両の妻引戸閉機は、経年劣化に起因する動作不良が多発しています。これら不良を防止する目的で戸閉機の改修を実施しま

<内訳>

- (1) 戸閉機の購入
- (2) 戸閉機の交換業務委託

(1) 戸閉機部品の購入

項目	数量	単位	単価	金額
ドアクローザ	140	個		
開閉腕	133	個		
開閉装置取付台	133	個		
小計				

(2) 戸閉機の交換業務委託

項目	数量	単位	単価	金額
戸閉機の交換作業	29	編成		
管理費	29	編成		
小計				

積算金額

項目	数量	単位	単価	金額
(1) 戸閉機部品の購入	1	式		
(2) 戸閉機の交換作業	1	式		
税抜計				
消費税(10%)				
小計				



(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第八十三条
列車の防火区画化(連結車両の客車間に通常時閉じる構造の貫通扉等を設置すること)
妻引戸(貫通扉)戸閉機に動作不良が発生すると、貫通扉を通常時閉じることが出来ない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費 節・細節：38 車両修繕費	所属：車両課 担当者：奥田

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
19 3000N/R/S形車両 混雑時携帯電話電源オフエリアフィルム貼り替え事業	12,007

(1 事業目的・内容)

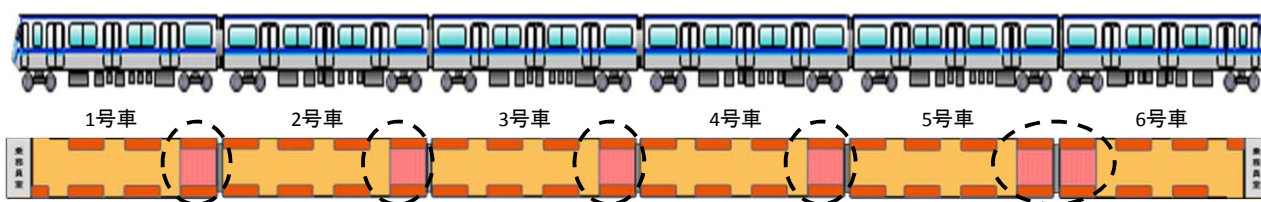
市営地下鉄は混雑時に携帯電話電源オフエリアの識別として車内の床にフィルムを貼り付け、お客様にわかりやすいようにしています。携帯電話電源オフエリア床フィルムの設置から6年が経過しており、床フィルムの劣化が著しく、剥がれがあるために補修を要します。そのため、携帯電話電源オフエリアの床フィルム貼り換えを実施します。
平成30年度から32年度までの3年計画の2年目であり、平成32年度まで債務負担設定済みです。

<委託内容>

- 1 3000N/R/S形(29編成)の混雑時携帯電話電源オフエリア床フィルム貼り換え
 - 2 混雑時携帯電話電源オフエリア床フィルムはがし、糊除去
 - 3 混雑時携帯電話電源オフエリア床フィルム貼り付け
- ※ 3000A形は補修・修理対応

年度別施行編成数

	30年度	31年度	32年度	合計
施行編成数	10編成	10編成	9編成	29編成



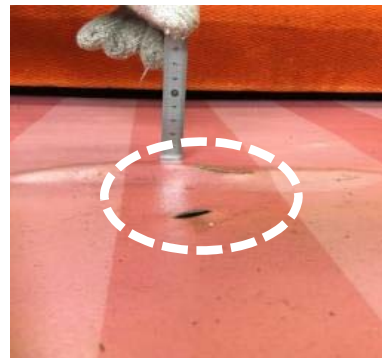
混雑時携帯電話電源オフエリア位置 図



平成23年施行時 画像



現在の床フィルム 画像



床フィルム剥がれ 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	11,790	12,007	11,376			35,173
債務負担設定	24,015					24,015

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
20 3000N/R/S形車両 各装置箱パッキン交換事業	

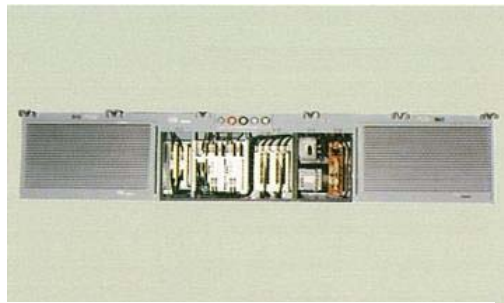
(1 事業目的・内容)

本件は、ブルーライン3000N/S形の制御装置箱、3000N形の補助電源装置箱、3000S形のブレーキ制御ユニット箱、3000N/R/S形のYTM(モニタ)・ATO装置箱、ATC装置箱 のパッキンを交換するものです。
経年劣化によるパッキンの劣化が著しく、本体とフタとの間に隙間ができ塵埃等(鉄粉含む)が混入しています。塵埃等が混入することにより電子機器に悪影響をおよぼし、故障へと波及する恐れがあるためパッキン交換を行い、車両の安全運行確保と性能維持を目的に本事業を行います。

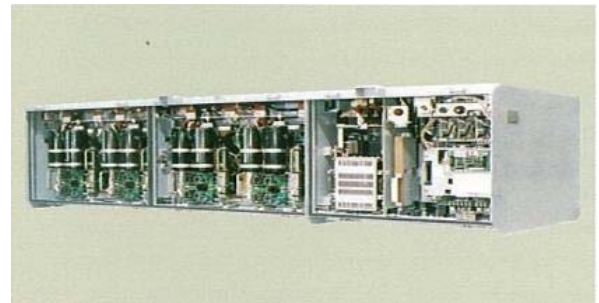
対象施行数量

制御装置箱・補助電源装置箱 : 2台/編成
ブレーキ制御ユニット箱 : 6台/編成
YTM(N形はモニタ)・ATO・ATC箱 : 6台/編成

積算金額		単価	計
形式および装置名	数(編成)		
3000N形(制御装置、補助電源装置)	0		0
3000S形(制御装置、ブレーキ制御ユニット)	7		
3000N・R・S形(YTM(N形はモニタ)・ATO、ATC)	7		
税抜金額			
税(8%)【2編成分】			
税(10%)【5編成分】			
合計金額			



制御装置 画像

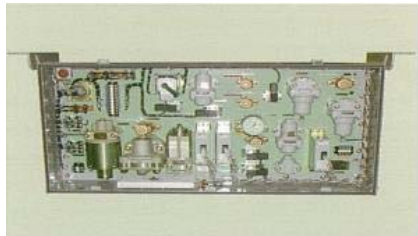


補助電源装置 画像

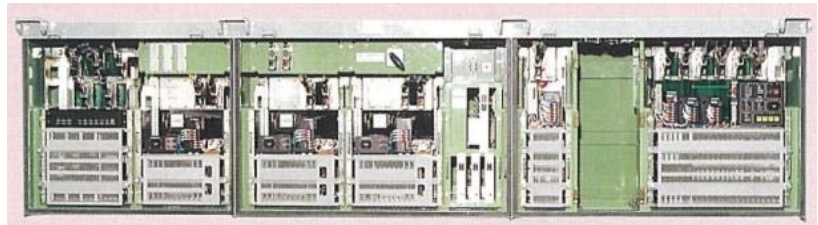
↓ATC

↓ATC

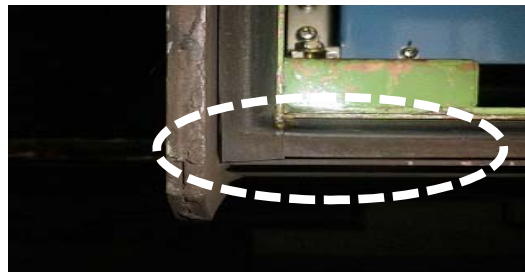
↓YTM(モニタ)・ATO



ブレーキ制御ユニット 画像



YTM(N形はモニタ)・ATO、ATC装置 画像



パッキンへたり 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両実施基準による各部品の使用限度および交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 奥田	

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
21 3000形車両 車輪及びディスク板交換事業	

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部保全・全般保全検査において、車両の安全運行確保と性能維持のため使用限度に達した車輪及びディスク板を新品に交換します。

入場車両別 車輪交換軸数

車両形式	編成	交換数量	交換軸数
3000A形	27F	16	8
3000N形	32F	8	4
3000S形	53F	8	4
	60F	8	4
合 計			20

入場車両別 ディスク板交換組数

車両形式	編成	交換数量	交換組数
3000A形	27F	8	4
3000N形	32F	16	8
合 計			12

1軸当りの車輪交換金額

項目	単価
労務費	
諸経費	
計	

1組当りのディスク板交換金額

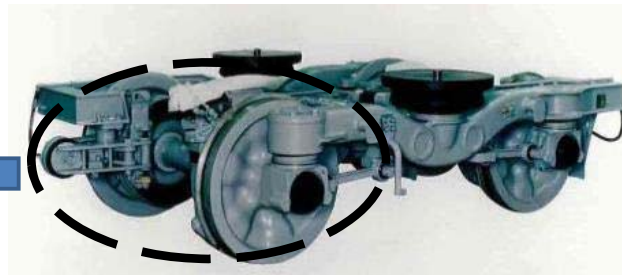
項目	単価
労務費	
諸経費	
計	

積算金額

項目	数(式)	単価	小計
車輪交換	20		
ディスク板交換	12		
税抜金額			
税(10%)			
合計金額			



輪軸 画像



台車画像



ディスク板 画像



車輪交換作業 画像

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両実施基準による、各 부품の使用限度および交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
22 3000A形車両空調装置予防保全事業	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

3000A形車両空調装置は新車導入から27年が経過しています。同装置は部品の経年劣化で、年間の故障件数が年々増加しています。このままでは、お客様に快適な車内空間の提供と健全な車両運行を目的に、本装置の予防保全を行う事業です。

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(単位:千円)

項 目	31年度
電機品改修	4台
単価	
税抜	
税(10%)	
税込	



屋根上、冷房インバータユニット
(電機品)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 奥田	

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
23 3000A形車両 連結器修理事業	

(1 事業目的・内容)

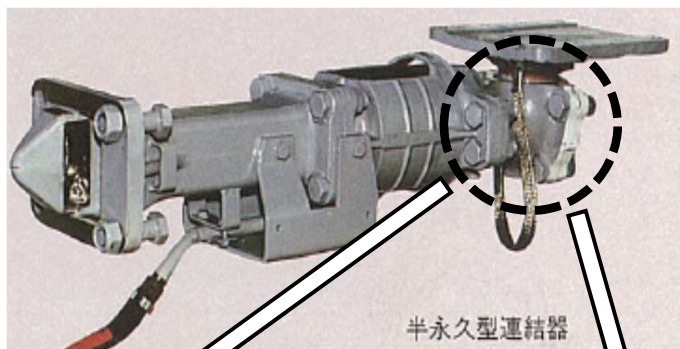
車両連結器は、車両間の連結に使用されているもので、その構造は、尾カン・球頭部・緩衝部等で構成されています。
 車両連結器の尾カンと球頭部間の潤滑油に使用している樹脂が摩耗して、使用限度に達しているため、張替修繕をします。

数量 5組(10個)／1編成分

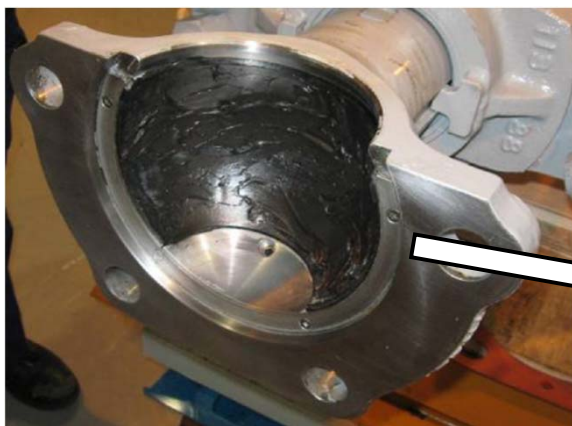
(2 前年度から変更・見直した点)

前回、平成30年度に実施済み
 使用限度10年

項 目	数量／編成	31年度
連結器修理	5組(10個)／1編成	1編成
修理金額		



半永久型連結器 画像



連結器尾カン 画像



尾カン蓋 画像

張り替える
 オイレス樹脂
 (球頭部内部)



連結器球頭部 画像

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

○ブルーライン車両修繕計画
 (平成31年度 3000A形車両 1編成施工)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
24 3000V形車両 PQモニタリング装置校正事業	

(1 事業目的・内容)

本件、PQモニタリング装置は3000V形車両に搭載されており、脱線に対する安全性の指針である脱線係数を測定する装置です。装置は主に両先頭車の中間車寄りに配置したPQモニタリング台車と制御装置から構成されています。台車および車体に搭載した各種センサにより、輪重、横圧、軸箱振動加速度、車体振動加速度などを測定し、制御装置にそれらのデータを記録して車両や軌道管理に役立てます。本装置は正確なデータを得るため各種センサの校正を1年毎に車輪削正後に実施しなければなりません。よって、装置の維持と管理のため各種センサの校正を実施し車両や軌道管理に役立て安全な運行に努めます。



PQモニタリング台車



PQモニタリング装置

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
25 3000形車両 その他修理事業	

(1 事業目的・内容)

車両の不具合箇所の、修理対応をおこないます。

3000A形車両の電機品オーバーホールは18年度に完了しておりますが、修理件数は増加傾向にあります。
31年度予算は、H29年度の修理実績金額を基に査定を掛け計上しました。

過去3年間の予算額と決算額

項 目	27年度	28年度	29年度	31年度
予算額	19,645	21,232	55,147	
実績修理費	57,032	55,147	84,016	-

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	766,891	637,893	128,998

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
1 重要部・全般検査用材料調達事業	172,828

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部・全般検査において、車両の安全運行確保と性能維持のため、定期交換が必要となる各装置の部品を購入します。
 なお、本事業は、平成32年度入場予定の編成に使用する材料を1年前倒して調達するものです。

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・平成30年度に購入予定のリニアモーターは納期が平成31年度になるため、別事業とし債務負担を設定します。
- ・過去購入実績及び見積を使用し、各部品の必要予定数量から予算金額を算出しました。
- ・資材、原料価格の上昇及び人件費、物流費等の上昇により、台車部品の価格が5%上昇しました。
- ・経年劣化による台車ゴム部品の交換を実施します。
- ・部品納期は下半期になる見込みのため、消費税10%として計上しています。

・対象編成数:

	重要部検査	全般検査	計
平成32年度	1編成	3編成	4編成

<内訳>

(単位:千円)

重要部・全般検査用材料		
項目	重要部検査[1編成あたり]	全般検査[1編成あたり]
台車部品		
パンタグラフ部品		
空制・電子機器部品		
戸閉装置部品		
座金・Oリング等		
計		

(単位:千円)

予算額			
項目	単価	数量	金額
重要部検査用材料		1編成	
全般検査用材料		3編成	
予算計上額			172,828

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両整備実施基準による各部品の使用限度及び交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 列車検査・月検査用材料調達事業	8,779

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する列車検査・月検査において、車両の安全運行確保と性能維持のため、定期交換が必要となる消耗品や摩耗品を購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・過去購入実績及び見積を使用し、各部品の必要予定数量から予算金額を算出しました。
- ・必要予定数量を見直しました。

<内訳>

(単位:千円)

項目	金額	備考
パンタグラフ部品		固形潤滑剤等
一般電気部品		スイッチ等
予算計上額	8,779	

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両整備実施基準による各部品の使用限度及び交換周期による。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

3 車輪購入事業

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づいて実施する重要部、全般検査において、車両の安全運行確保と性能維持のため、使用限度に達した車輪を交換するため、交換用車輪を購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)

資材、原料価格の上昇及び人件費、物流費等の上昇により価格が上昇しました。
契約業者より、次年度発注予定であることを考慮したうえでの見積を徴収し積算しました。

<内訳> ※1編成あたりの使用枚数:32枚 (単位:千円)

	編成数	数量	単価	金額
10000形車両用車輪	1	32		

予定購入数量		
H29年度予定購入数量	6編成分	192枚
H30年度予定購入数量	1編成分	32枚
H31年度予定購入数量	1編成分	32枚
H32年度予定購入数量	1編成分	32枚
計	9編成分	288枚

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費 節・細節：38 車両修繕費	所属：車両課 担当者：山田、中嶋

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
4 車両検査ほか委託事業	354,008

(1) 事業目的・内容

鉄道車両の安全な運行を確保するため、鉄道に関する技術上の基準を定める省令(国土交通省)及び施設並びに車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)により定められた各種定期検査として、列車検査、月検査及び重要部検査、全般検査を実施するものです。
29年度から4年間の複数年契約とします。4年契約の3年目となります。

○定期検査の内容

列車検査	10日を超えない期間ごとに車両の主要部品の状態について、目視等により検査を行います。
月検査	90日を超えない期間ごとに車両の状態及び機能について検査を行います。
重要部検査	4年または走行距離が60万キロメートルを超えない期間のいずれか短い期間ごとに、動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、主要部分について分解・検査を行います。
重要部検査[在姿]	重要部・全般検査の周期延伸に向けて、検査周期を伸ばした車両の走行試験を実施しています。試験車両は、分解検査ではなく在姿にて車両検査を実施し安全確認を行います。
全般検査	8年を超えない期間ごとに、車両を全般にわたって分解・検査を行います。

(2) 前年度から変更・見直した点

- ・29年度から4年間の複数年契約としており、30年度は4年契約の3年目となります。
- ・各種業務の単価の見直し(見積及び積算)を実施しました。
- ・重要部、全般検査の検査周期延伸への取り組みにより、試験車両(第12編成)の全般検査を延伸重要部検査として実施します。
- ・平成30年度に予定されていた第9編成の重要部検査を、在姿重要部検査にて実施するため、平成31年度に重要部検査を実施します。

(単位：千円)

＜車両検査ほか委託事業内訳＞				29年度		30年度		31年度		32年度	
項目	単価	単位	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
重要部検査 全般検査	車体ほか	重要部検査	編成	3		1		4		1	
		重要部検査[在姿]	編成	0		1		0		0	
		全般検査	編成	2		2		1		3	
		車輪交換	編成	3		3		2		0	
	ATC装置ほか	重要部検査	編成	3		1		4		1	
		全般検査	編成	2		2		1		3	
	列車無線装置	重要部検査	編成	3		1		4		1	
		全般検査	編成	2		2		1		3	
計											
月検査、 列車検査ほか	月検査	回	68		68		68		68		
	車輪削正	軸	272		272		272		272		
	冷房点検	回	34		34		34		34		
	暖房点検	回	17		17		17		17		
	ライニング張替	枚	544		544		544		544		
	列車検査	回	576		576		576		576		
	責任者	回	244		244		244		243		
	故障対応	式	1		1		1		1		
	業務補助(検修設備月例点検等)	式	1		1		1		1		
計											
合計					361,283		291,405		354,008		319,737

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令(国土交通省令)
- ・施設及び車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準

(4) 年次表

	30年度予算	31年度予定	32年度予定	33年度以降	34年度以降	総額
事業費	312,421	354,008	319,737			986,166
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目		担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費
節・細節: 38 車両修繕費		所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
5 車両装置箱パッキン貼換事業	

(1 事業目的・内容)

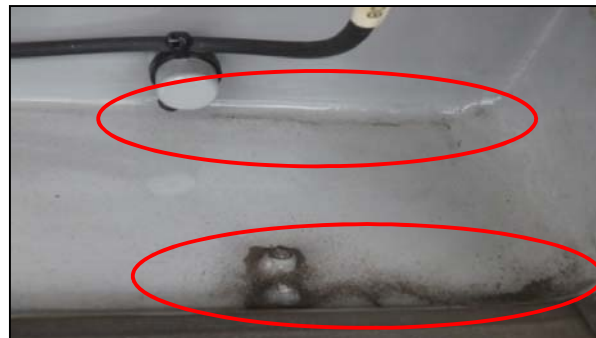
車両床下に搭載されている主要車両装置箱の防水防塵パッキンの交換を行うものです。
 車両装置箱パッキンの経年劣化により、パッキンとしての機能が低下し、車両装置箱内に雨水や埃が侵入しております。
 車両装置箱には各種電子機器が内蔵されており、雨水や埃の侵入により、電子回路の故障等が発生する恐れがあります。

施工対象機器

- ・VVVFインバータ装置箱
- ・SIV装置箱
- ・ブレーキ制御装置箱
- ・ATC装置箱(ATO装置、トランスポンダ装置)
- ・列車無線装置箱



浸水による錆



埃侵入状況

(2 前年度から変更・見直した点)

重要部、全般検査入場車両を対象に交換を実施します。
 作業に必要な材料を含めて見積もりました。
 平成31年度下半期以降の事業費については、消費税を10%として計上しなしております。

<内訳>

(単位:千円)

	編成数	単価	金額
車両装置箱パッキン	上半期 2		
車両装置箱パッキン	下半期 3		
計			

予定施工編成数	
H30年度施工数量	3編成分
H31年度施工数量	5編成分
H32年度施工数量	4編成分
H33年度施工数量	3編成分
計	15編成分

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者: 山田、中嶋	

(単位:千円)

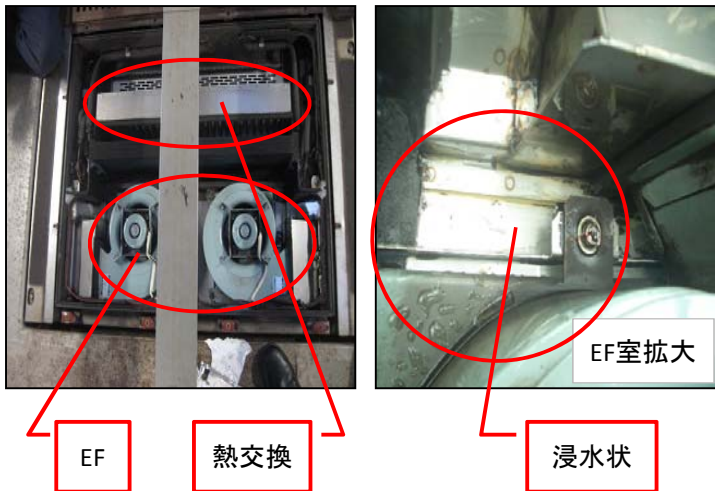
【 事 業 内 容 】 31年度予算額

6 空調装置オーバーホール事業

(1 事業目的・内容)

10000形車両搭載空調装置は、熱交換器、パッキン等部品の経年劣化により、空調効率が低下しております。また、熱交換器からの排水が他の機器室へ侵入しており、客室への水漏れや、同装置内コンプレッサーの動作不良を引き起こす恐れがあります。

現在、ユニットクーラーの他機器室浸水対策及び排水用ドレンパン改修を施した試験品を第05編成Mc1車No.1クーラーへ搭載して試験運行中です。改良品を他の編成(1次車)にも展開し、空調装置のオーバーホールを実施します。



(2 前年度から変更・見直した点)

見積を徹直し積算しました。

重要部、全般検査入場車両を対象に交換を実施します。

	対象編成数	対象編成
平成29年度実施予定	トライアル:1台	第2編成
平成30年度実施予定	2	第10, 11編成
平成31年度実施予定	5	第9, 12~15編成
平成32年度実施予定	4	第1~4編成
平成33年度実施予定	3	第5~7編成
平成34年度実施予定	1	第8編成
計	15	

<内訳>

(単位:千円)

	編成数	単価	金額
空調装置オーバーホール	5		
空調装置脱着作業	5		
合計			

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	64,695					
債務負担設定	173,403					

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
7 その他修理事業	53,810

(1 事業目的・内容)

車両故障等が発生した際に、不具合箇所の修理を実施するものです。
安全な運行の提供の為、迅速な修理を実施する必要があります。

次年度予定されている全般、重要部検査車両4本分の戸先ゴム交換費用を含みます。
次年度予定されている全般、重要部検査車両4本分の乗務員室側開戸防水ゴム等交換費用を含みます。
次年度予定されている全般、重要部検査車両4本分の携帯電話電源オフエリア床フィルム交換作業費用を含みます。
次年度予定されている全般、重要部検査車両4本分の客室シート表地交換費用を含みます。
次年度予定されている、臨時入場車両1編成分の車輪交換費用を含みます。

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・平成27年度までに発生した故障については、およそ半数が業者の瑕疵として修理対応してきました。開業から10年が経過し経年劣化等が発生している状況で、瑕疵修理での対応は不可となっています。今後発生する故障については、基本的に全件契約する必要があり、平成30年度では瑕疵修理対応は0件です(9月11日現在)。
- ・過去2年間の平均修理単価と今年度の修理件数予測(60件)を基に緊急修理に必要な予算を算出しました。
- ・平成31年度下半期以降の事業費については、消費税を10%として計上しなおしています。
- ・通報制御器予防保全は平成32年度から機器更新のため見直しました。
- ・客室シート表地交換は、6両化で実施予定の編成について見直しました。

	緊急修理件数(件)	緊急修理平均単価(千円)
平成28年度		
平成29年度		
平成30年度 予測		

・ 緊急修理費用

・ 戸先ゴム交換費用[編成]	×	5 編成分	=	
・ 乗務員室側開戸防水ゴム等交換費用[編成]	×	5 編成分	=	
・ 通報制御器予防保全費用[編成]	×	0 編成分	=	
・ 携帯電話電源オフエリア床フィルム交換作業費用[編成]	×	5 編成分	=	
・ 客室シート表地交換費用[編成]	×	1 編成分	=	
・ 臨時入場車両車輪交換費用[編成]	×	1 編成分	=	

予算計上額 53,810 千円

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
----------	---------

8 LIM購入事業

(1 事業目的・内容)

10000形車両用のリアモーター1台を購入します。
 地絡事故等により予備数量が不足しており、10年使用してきたリアモーターの絶縁抵抗低下の傾向が見られるため、
 検査時に見つかる不良品交換対応の予備品を確保します。1次車用予備:5台→1台 (計4台不良の内訳 地絡故障:3台 絶縁低下故障:1台)
 H30年度に購入するリアモーターの納期が14~15か月かかるため、平成31年度に納入となり債務負担を設定します。

<内訳> (単位:千円)

	台数	単価	金額
リアモーター	1		

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
9 車内シール貼換委託事業	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

10000形車両のドア上部には、ブルーライン・グリーンラインの全線を示す路線図が貼り付けられています。平成32年度に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、インバウンド需要の高まりが予想されるため、車内路線図を路線記号が記されたものに貼り替えて、外国人のお客様の利便性向上を図ります。路線記号については車内表示器にも表示し、車内で表示を統一します。合わせて、車内に貼り付けられているシールの多言語化、ゆずりあいシートのヘルプマーク追加を行います。

項目	施工編成数	単価	小計
車内シール貼替	17	[Redacted]	[Redacted]
	税(10%)		[Redacted]
	合計金額		[Redacted]



車内路線図

(2 前年度から変更・見直した点)
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額					
1 車両修繕費 材料費	29					
(1 事業目的・内容)						
<p style="margin-left: 40px;">車両の部材を購入する費用</p>						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 年次表)						
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 工藤

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
1 車両修繕 部品材料 検車区	29
中期経営計画 -	
(1 事業目的・内容) 緊急の地下鉄車両修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 高橋
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
1 車両修繕 部品材料 川和検修区	29

(1 事業目的・内容)

緊急の車両修繕に必要な部品・材料を購入するため川和保守管理所長に前渡する資金

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

前渡資金が有れば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	49,395	35,987	13,408

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額														
1 材料調達事業															
(1 事業目的・内容) 上永谷車両基地に設置している設備等に用いる消耗品を購入します。															
(2 前年度から変更・見直した点) 平成26年度～平成29年度の契約実績の平均値を根拠として積算を行いました。															
<table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約実績(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成26年度</td><td></td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td></td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td></td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">平均値(小数点第一位切上げ)(税込)</p> <p style="margin-left: 40px;">税抜金額</p>	年度	契約実績(税込)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		<table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>予算額(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成31年度</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">税率10%</p>	年度	予算額(税込)	平成31年度	
年度	契約実績(税込)														
平成26年度															
平成27年度															
平成28年度															
平成29年度															
年度	予算額(税込)														
平成31年度															
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)															

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 3000形VVVFゲート試験機用ケーブル購入事業	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地、新羽車両基地の3000形VVVFゲート試験機は、車両の制御装置等の各種検査に使用しています。
 本試験機について、接続するケーブル及びコネクタが経年劣化により損傷しており、接触不良が頻発しています。
 本ケーブルが完全に破損した場合、制御装置の試験が不可能となり、定期入場の検査や故障対応を行うことができません。
 そのため、ケーブルの交換を行うにあたり必要数を購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費 節・細節 39 その他修繕費	所属：車両課 担当者：奥田

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
3 車両検修設備保守委託事業	

(1) 事業目的・内容

上永谷車両基地、新羽車両基地の車両検修設備は、車両の各種検査及び車両脱線時の復旧等に使用しています。これらの装置の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、計画的に保守を行います。



(自動車両洗浄装置)

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	30年度点検	31年度点検
車両輪重測定装置	-	1台	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場	○	○
自動車両洗浄装置	-	各1台	車両洗浄等	2年 (前回H29)	上永谷検車区及び 新羽検車区	-	○
台車洗浄装置	-	1台	重要部・全般保全検査等	2年 (前回H29)	上永谷修繕工場	-	○
台車塗装装置(脱臭装置、塗装ロボット含)	-	1台	全般保全検査等	3年 (前回H28)	上永谷修繕工場	-	○
台車トラバーサ(台車抜取装置)	-	1台	重要部・全般保全検査等	3年 (前回H28)	上永谷修繕工場	-	○
台車分解組立装置	-	1台	重要部・全般保全検査等	3年 (前回H28)	上永谷修繕工場	-	○
乾式移動集塵機 (14,15番線)	EF-1000	2台	故障対応、整備等	3年	上永谷検車区	○	-
輪軸洗浄装置 (洗浄ロボット含む)	-	1台	重要部・全般保全検査等	3年	上永谷修繕工場	○	-
歯車箱回転検査装置	-	1台	重要部・全般保全検査等	6年	上永谷修繕工場	○	-

(2) 前年度から変更・見直した点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

車両輪重測定装置 横浜市高速鉄道車両実施基準第46条(静止輪重の管理)
輪重比管理を適正に行うため輪重測定装置の校正を定期的(毎年)行う必要がある。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	所属：車両課 担当者：奥田

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
4 車両移動機等保守委託事業	

(1) 事業目的・内容

上永谷車両基地及び新羽車両基地に設置されている車両移動機、高所作業車は車輪の削正作業で車両を移動する際や車両点検時の車両屋根を検査する際に使用しています。

これらの車両移動機の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、法令で定められた定期自主検査を行います。



車両移動機 (AN77RR-2ST)



車両移動機 (30D-BWAT)

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	30年度点検	31年度点検
車両移動機	AN77RR-2ST	1台	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場	○	○
	30D-BWAT	1台	車輪削正時の車両移動等	毎年	上永谷検車区	○	○
	21HM	1台	車輪削正時の車両移動等	毎年	新羽車両基地	○	○
高所作業車	MAX-LIFT-700	1台	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場	○	○
テールリフター	ANT-LT-700	1台	重要部・全般保全検査等	3年 (前回H27)	上永谷修繕工場	○	-

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

車両移動機 労働安全衛生規則第229条(定期自主検査)

事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行わなければならない。

高所作業車 労働安全衛生規則第194条の23(定期自主検査)

事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行わなければならない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	担当 所属: 車両課 担当者: 奥田
---------------------------------	-----------------------------------	--------------------------

(単位:千円)

【事業内容】 31年度予算額

5 クレーン定期自主検査事業

(1 事業目的・内容)

車両基地に設備されているクレーンは車両検査にて車両や車両部品等の重量があるものを運搬するために使用しています。各クレーンの性能、安全性及び寿命を維持する目的で、法令で定められた定期自主検査を行います。



(10tホイスト付天井クレーン)

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	重量	数量	使用用途	年検周期	設置場所	月例点検	年次点検	点検周期
天井クレーン	15t/3t	2基	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場	11回	1回	毎年
	7.5t	1基	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場	11回	1回	毎年
	1t	1基	各装置等の運搬等	毎年	上永谷修繕工場	-	1回	毎年
ホイスト付天井クレーン	10t	1基	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場	11回	1回	毎年
	2.5t	2基	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場	-	1回	毎年
スタッカークレーン	4.2t	1基	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場	11回	1回	毎年
	0.8t	2基	各装置等の運搬等	毎年	上永谷修繕工場	11回	1回	毎年
モノレールホイストクレーン	0.25t	2基	各装置等の運搬等	毎年	上永谷検車区	-	1回	毎年
橋形クレーン	8.1t	1基	レール等重量物運搬等	毎年	新羽施設区	11回	1回	毎年
	4.8t	1基	レール等重量物運搬等	毎年	上永谷施設区	-	1回	毎年

性能検査(揚力3t以上が対象)

名称	重量	数量	検査実施周期	実施年
天井クレーン	15t/3t	2基	2年	平成30年
	7.5t	1基		平成30年
ホイスト付天井クレーン	10t	1基		平成30年
スタッカークレーン	4.2t	1基		平成31年実施予定
橋形クレーン	4.8t	1基		平成31年実施予定
	8.1t	1基		平成31年実施予定

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生法第45号の1、同法施行令第15条、クレーン等安全規則第34条(定期自主検査)

1年以内毎に1回、また、1か月以内毎に1回、検査を行わなければならない。

労働安全衛生法 第45条の2

特定自主検査を行う際は、資格を有するもの又は登録を受けたものに実施させなければならない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	項：01 営業費用 目：30 車両保存費 所属：車両課 担当者：奥田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
6 フォークリフト等特定自主検査事業	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地で使用しているフォークリフト及び作業台付蓄電池車は、重量がある車両部品の運搬等に使用しています。各フォークリフト及び作業台付蓄電池車の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、法令で定められた定期自主検査を行います。



バッテリーフォークリフト

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	重量	数量	使用用途	点検周期	設置場所
バッテリーフォークリフト	2.5t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
	1.65t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷検車区
	1.6t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
	1.5t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
	1.0t	1台	物品搬入・移動等	毎年	新羽検車区
エンジンフォークリフト	3.0t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
作業台付蓄電池車	-	4台	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生規則第151条の24(フォークリフトの特定自主検査)及び194条の26(作業台付蓄電池車の特定自主検査)1年以内毎に1回、検査を行わなければならない。

労働安全衛生法第45条の2

自主検査を行う際は、資格を有するもの又は登録を受けたものを実施させなければならない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
7 架空集電装置定期検査事業	

(1) 事業目的・内容

上永谷検車区(2基)、修繕工場(1基)及び新羽検車区(2基)の架空集電装置は、第三軌条の設備が無い検修庫内での車両整備で車両用動力電源として使用しています。
各架空集電装置の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、省令で定められた定期検査を行います。



(架空集電装置)

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所
架空集電装置	-	2基	車両電源供給	毎年	上永谷検車区
	-	1基	車両電源供給	毎年	上永谷修繕工場
	-	2基	車両電源供給	毎年	新羽検車区

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

鉄道に関する技術上の基準を定める省令第90条の2
施設及び車両の定期検査に関する告示第3条(電力設備の定期検査)
1年以内毎に1回、定期に検査を行わなければならない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	所属：車両課 担当者：奥田
項：01 営業費用 目：30 車両保存費	

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
8 一般工作機械保守委託事業	

(1) 事業目的・内容

上永谷修繕工場に設備されている一般工作機械は、車両の定期検査及び修繕に使用している機器になります。これらの機器は車両部品の脱着や機械的強度特性の評価判定に使用しています。各工作機械の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、省令で定められた定期検査を行います。



(スケヤーシャー)

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	30年度点検	31年度点検
スケヤーシャー	N-1504	1台	鋼板・アルミ・ステンレス等の板材の切断	毎年	上永谷修繕工場	○	○
油圧プレス	BC-25	1台	材料加工(曲げ、圧縮、圧脱、圧入等)	毎年	上永谷修繕工場	○	○
パネ試験機	RUE-200	1台	地下鉄車両の鋼材等の機械的強度	毎年	上永谷修繕工場	○	○
スクリュー	HM-22ADIH型	2台	空圧機械や工具用の圧縮空気を作り出す	4年	上永谷検車区	-	○
コンプレッサー	HM-22ADIH型	2台	機械の定期自主検査	(前回H27)	新羽検車区	-	○

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

- スケヤーシャー 労働安全衛生法第45条の1(定期自主検査)
事業者は、定期に自主検査を行ない、その結果を記録しておかなければならない。
労働安全衛生法施行令第15条の2(定期に自主検査を行うべき機械等)
労働安全衛生規則第135条(定期自主検査)
事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行わなければならない。
- パネ試験機 JIS-B-7721引張試験器第11項
事業者は、1年以内毎に1回、検査・校正を行わなければならない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費 節・細節 39 その他修繕費	所属：車両課 担当者：奥田

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

9 ATC試験装置保守委託事業

(1 事業目的・内容)

上永谷修繕工場に設備されているATC試験装置は、3000形車両に搭載しているATC装置の検査や故障分析に使用しています。
装置の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、計画的に保守を行います。



(ATC試験装置)

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所
ATC試験装置	No.2	1式	重要部・全般保全検査、故障分析等	6年	上永谷修繕工場

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
10 3000形列車無線携帯・簡易試験器保守委託事業	

(1) 事業目的・内容

上永谷車両基地及び新羽車両基地にある列車無線装置試験機は、列車検査、月検査及び重要部・全般保全検査に使用しています。
この装置の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、毎年メンテナンスを行います。



列車無線装置試験器

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所
列車無線携帯試験器	VX366 A011278-1	1台	重要部・全般保全検査、故障分析等	毎年 (前回H30)	上永谷検車区
	A011278-2	1台			新羽検車区
列車無線簡易試験器	VX367 A011278-1	1台	重要部・全般保全検査、故障分析等	毎年 (前回H30)	上永谷検車区
	A011278-2	1台			新羽検車区

(2) 前年度から変更・見直した点

従来は、6年に1回の保守としていたが、試験機の信頼性を向上させるために、H31より毎年点検とする。

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：30 車両保存費	所属：車両課
節・細節 39 その他修繕費			担当者：奥田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

11 新羽車両基地車輪転削盤保守委託事業

(1 事業目的・内容)

新羽検車区に設備されている車輪転削盤は、車両の走行により摩耗する車輪の形状を正規の形状に削正するもので、定期的に削正することにより車輪形状の管理をしています。

本装置は、平成28年に施工完了した装置になります。

車輪形状の管理に支障が出ないよう、装置の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、年次点検を行います。

また、本装置の3ヶ月、6ヶ月点検についても専門性が高く、直営での管理が困難であるため、委託して実施するようようにします。



新羽車両基地 車輪転削盤

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課 担当者: 奥田
節・細節 39 その他修繕費			

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
12 運用管理システムウイルスソフトパターンファイル更新	

(1 事業目的・内容)

運用管理システムは、車両の毎日の動き(運用)や検査、清掃等の作業計画を立てたり、基地のPRC(基地信号システム)に送信し、基地内の配車計画にも使用していますが、作業効率の悪い従来品を平成28年度に新規設計し、今年度にかけて更新しております。更新後の運用管理システムは従来品と異なり、交通局内ネットワークに組み込まれたサーバクライアントとして設計したため、ウイルス対策ソフトをインストールしております。

ウイルスソフトは、日々発生する新しいウイルスを迅速に発見するために、パターンファイル(ウイルスの特徴を記したデータベースのようなもの)を保有しています。パターンファイルは通常、外部ネットワーク経由で随時更新されるように設定しますが、本システムが接続されているネットワークは、セキュリティ対策のためインターネットに接続不可能な閉じたネットワークとなっております。そのため、パターンファイルを更新するには、本システムのサーバに手動でインストールを行う必要があります。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課
節・細節 39 その他修繕費			担当者: 奥田

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
13 3000形ブレーキ電子機器試験機保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地にある3000形ブレーキ電子機器試験機は、全般保全・重要部保全検査及び故障時の性能確認に使用しています。
この装置の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、定期的(6年毎)にメンテナンスを行います。
点検周期表に基づき計画的に保守を実施しており、点検周期となる年度において保守を行います。



3000形ブレーキ電子機器試験機

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所
3000形ブレーキ電子機器試験機	-	1式	重要部・全般保全検査、故障分析等	6年 (前回H25)	上永谷検車区

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節 39 その他修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
14 U字型台秤ほか保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地及び新羽車両基地で使用している特定計量器の整備及び検定を実施します。
計量器は地下鉄車両整備等で不用となった車輪・機器類の売り払い時の数量(質量)算出に用いています。
産業廃棄物の処理や売り払い等の取引で数量を算出するのに計量器を用いるときは、検定に合格した特定計量器を用いなければならない、検定に必要な事前整備も合わせて行います。



U字型台秤



デジタル吊秤

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所
U字型台秤	ニューダービー	1式	車輪・機器類の売り払い品計量等	2年 (H29点検実施)	上永谷修繕工場
デジタル吊秤	CASTONⅢ	1式	車輪・機器類の売り払い品計量等	2年 (H29購入品)	新羽検車区

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

計量法第19条(定期検査)

取引又は証明における法定計量単位による計量に使用する特定計量器について定期検査を受けなければならない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課 担当者: 奥田
節・細節 39 その他修繕費			

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

15 車両移動機無線改修事業

(1) 事業目的・内容

車両移動機について、車輪削正や車両移動時に車両に搭載されている無線により、基地局側信号とやり取りをしています。本装置搭載の無線機について、世界無線通信会議(WRC)のスプリアス許容値見直しを受け、関係省令が改正されました。これにより、旧スプリアス規格で生産されたエニーテレコン送信機の技術適合証明の効力が失われ、今後法的に使用できなくなります。上永谷車両基地の車両移動機2台については、該当の無線が搭載されているため、新たなスプリアス規格に対応した適合製品へ改修します。



車両移動機 (AN77RR-2ST)



車両搭載無線

(2) 前年度から変更・見直した点

新規事業

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

無線設備規則 (昭和25年 電波監理委員会規則第18号)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節 39 その他修繕費	所属: 車両課 担当者: 奥田
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
16 BL車両運用管理システム改元対応業務委託	

(1) 事業目的・内容)

車両運用システムは、日々の車両運用の予定、検査計画の策定、基地の車両留置の計画等に使用しており、車両の適切な運用・整備のために重要な役割を果たしております。
本装置はサーバークライアント方式(コンピュータ)システムであり、毎日運用等の作成・帳票出力を行っているため、システムは日付の管理が重要になりますが、現在の元号である平成は31年5月を最後に改元予定となっております。改元の際は元号を平成から新元号に対応させるために、本システムのオペレーティングシステムやソフトのバージョンアップが必要となりますので予算の計上を行います。

(2) 前年度から変更・見直した点)

新元号発表予定時期が30年度内であったのが延期となり、31年度の5月に改元されることが決定となったため、改元対応の執行が31年度となった。

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

元号法 第2項 元号は、皇位の継承があった場合に限り改める。

(4) 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	総 額
事業費					
債務負担設定※					

平成31年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課 担当者: 奥田
節・細節 39 その他修繕費			

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
17 その他修理事業	

(1) 事業目的・内容

上永谷車両基地及び新羽車両基地に設置している設備の不具合箇所の修理対応を行います。
車両基地の設備等は、列車検査、月検査及び重要部・全般保全検査で使用しています。機器類が故障し機能を停止した場合、各検査の工程に支障をきたす恐れがあることから迅速な修理対応が必要となります。

(2) 前年度から変更・見直した点

平成26年度～平成29年度の契約実績の平均値を根拠として積算を行いました。

年度	契約実績(税込)
平成26年度	
平成27年度	
平成28年度	
平成29年度	

--

年度	予算額(税込)
平成31年度	

税率10%

平均値(小数点第一位切上げ)(税込)

税抜き金額

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

鉄道に関する技術上の基準を定める省令及び検査告示(第5条)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	22,296	25,247	△ 2,951

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事業内容 】	31年度予算額																
1 材料調達事業																	
<p>(1 事業目的・内容) 川和車両基地に設置している、車体洗浄装置や車両管理システム等の車両検修設備に使用する交換部品及び消耗品を購入します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 過去3年間(平成27年から平成29年)の契約実績金額の平均値を計上。</p> <p style="text-align: right;">(単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約実績(税抜)</th> <th>実績平均(税抜)</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="background-color: black;"></td> <td style="background-color: black;"></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="background-color: black;"></td> <td style="background-color: black;"></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="background-color: black;"></td> <td style="background-color: black;"></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p>		年度	契約実績(税抜)	実績平均(税抜)	予算額	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
年度	契約実績(税抜)	実績平均(税抜)	予算額														
平成27年度																	
平成28年度																	
平成29年度																	

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：39 その他修繕費	項：01 営業費用 目：30 車両保存費 所属：車両課 担当者：山田、中嶋

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
2 車両検修設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両検修設備は車両の各種検査に使用しています。
各種検修設備の性能、安全性及び寿命を維持するため、設備毎に点検周期を定め、計画的に点検及び保守作業を実施しています。

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・各種設備の点検周期に基づき下記表のとおり点検を実施します。
- ・各種装置の単価は見積(見積による積算)を採用しました。
- ・車体自動洗浄装置の仕上水用プレフィルタ―交換、制御盤シーケンサ交換を追加します。
- ・電動前面洗浄台の制御盤シーケンサ交換を追加します。
- ・車輪転削盤はオーバーホールによる消耗品の交換を含みます。

設備名称	点検周期	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
LIMギャップ測定装置	毎年	○	○	○	○	○	○
車両輪重測定装置	毎年	○	○	○	○	○	○
車体自動洗浄装置	2年	○	-	○	-	○	-
気吹き集じん装置	3年	○	-	-	○	-	-
台車抜取装置	3年	○	-	-	○	-	-
脱線復旧装置	3年	-	○	-	-	○	-
電動前面洗浄台	3年	-	-	○	-	-	○
車輪転削盤	3年	-	○	-	○	-	○

<内訳>

(単位:千円)

対象設備	金額
LIMギャップ測定装置	
車両輪重測定装置	
車体自動洗浄装置	
電動前面洗浄台	
車輪転削盤	
計	

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

車両輪重測定装置

横浜市高速鉄道車両整備実施基準第14条(静止輪重の管理)
輪重比管理を適正に行うため、輪重測定装置の校正を定期的(毎年)行う必要がある。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目		担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費
節・細節: 39 その他修繕費		所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
3 車両移動機保守委託事業	

(1) 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両移動機は車輪の転削作業等で車両を移動する際に使用しております。
車両移動機の性能、安全性及び寿命を維持するため、法令で定められた定期自主検査を行います。
※検査周期: 毎年



30DR-2ST: 車両移動機

(2) 前年度から変更・見直した点)

平成30年度に実施済みの下記2点を見直しました。
・無線機のスプリアス許容値見直し: 無線機×2台 転削線用無線機×1台 計3台
・ファンベルトの交換

年度	契約実績(税抜)
平成29年度	391
平成30年度	770

	予算計上額(税込)
平成31年度	

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

車両移動機 労働安全衛生規則第二百二十九条(定期自主検査)
事業者は、電気機関車等については、一年以内ごとに一回、定期に、自主検査を行わなければならない。

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額															
4 クレーン定期自主検査事業																
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>川和車両基地に設置しているクレーンは、車両検査時に車体や車両部品等を運搬するために使用しております。各種クレーンの性能、安全性及び寿命を維持するため、法令で定められた定期自主検査を行います。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>型式等</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井クレーン</td> <td>12t</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>天井クレーン</td> <td>1t</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>橋形クレーン</td> <td>2.8t</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>スタッカークレーン</td> <td>2.6t</td> <td>1基</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に実施済みの性能検査(2年に1度)を見直しました。 性能検査は、検査証の有効期限内(2年)に実施する必要があります。平成30年度に性能検査を実施しました。 (性能検査は3t以上のクレーンが対象) ・平成30年度に実施済みの1tクレーンと2.8tクレーンの無線機スプリアス許容値変更を見直しました。 <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>労働安全衛生法第45号の1、同法施行令第15条、クレーン等安全規則第34条(定期自主検査) 1年以内に1回、また、1ヶ月以内ごとに1回、検査を行わなければならない。</p>		対象設備	型式等	数量	天井クレーン	12t	2基	天井クレーン	1t	1基	橋形クレーン	2.8t	1基	スタッカークレーン	2.6t	1基
対象設備	型式等	数量														
天井クレーン	12t	2基														
天井クレーン	1t	1基														
橋形クレーン	2.8t	1基														
スタッカークレーン	2.6t	1基														

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 山田、中嶋	

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額															
5 フォークリフト等特定自主検査事業																
(1 事業目的・内容)																
川和車両基地で使用しているフォークリフト及び高所作業車等は、重量が大きな部品の運搬や、車両の車両屋根上を検査する際に使用します。各フォークリフト及び高所作業車の性能、安全性及び寿命を維持するため、法令で定められた特定自主検査を行います。 ※検査周期: 毎年																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>型式等</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バッテリーフォークリフト</td> <td>1.5t</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>バッテリーフォークリフト</td> <td>3.0t</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>高所作業車</td> <td>0.41t</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>バッテリー式運搬車</td> <td>1.0t</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table>		対象設備	型式等	数量	バッテリーフォークリフト	1.5t	1台	バッテリーフォークリフト	3.0t	1台	高所作業車	0.41t	2台	バッテリー式運搬車	1.0t	1台
対象設備	型式等	数量														
バッテリーフォークリフト	1.5t	1台														
バッテリーフォークリフト	3.0t	1台														
高所作業車	0.41t	2台														
バッテリー式運搬車	1.0t	1台														
(2 前年度から変更・見直した点)																
平成30年度契約が未執行のため(平成30年9月末現在)、平成29年度の契約実績から積算しました。																
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																
労働安全衛生規則第151条の24(フォークリフトの特定自主検査)及び194条の26(作業台付蓄電池車の特定自主検査) 1年以内ごとに1回、検査を行わなければならない。																

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

6 車両管理システムアンチウイルスソフト更新事業

(1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置してある車両管理システムは、車両管理の総合システムとして、運用管理、検修設備管理、資材管理、図面管理等を行っております。本システムはサーバークライアント方式で、サーバー、クライアント(端末)の合計19台からなるネットワークとなっております。これらが、コンピュータウイルスに感染した場合、ネットワークでつながったすべてのコンピュータにウイルスが感染し、サーバーに深刻なダメージを与え、場合によっては、復旧不可能となる恐れがあります。
ウイルス感染を防ぐため、アンチウイルスソフトウェアの更新(毎月)を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・平成30年度実施内容と仕様変更が無いため、平成30年度の契約実績を計上しています。
- ・消費税は、上半期を8%、下半期を10%としています。

年度	契約実績(税込)
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令及び検査告示(第5条)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 車両課 担当者: 山田、中嶋
項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

7 その他修理事業

(1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両検修設備及びコンプレッサー等、車両整備に使用する機器で発生した不具合箇所の修理を行います。車両検修設備等は各種検査(全般、重要部、列車、月)で使用しております。機器類が故障し、その機能が損なわれた場合、各検査工程に支障をきたす恐れがあるため、迅速な修理を実施する必要があります。

(2 前年度から変更・見直した点)

過去3年間(平成27年から平成29年)の契約実績金額の平均値を予算額に採用しました。

(単位:千円)

年度	契約実績(税抜)	実績平均(税抜)	予算額
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令及び検査告示(第5条)

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		313	

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 上永谷検車区庁用車 材料費	29

(1 事業目的・内容)

庁用車の部品を購入する費用。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
2 上永谷検車区庁用車 車検・法定点検	

(1 事業目的・内容)

応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。

- ・国土交通省令に基づく点検
- 車検及び法定点検 1台(応急車1台)

○ 積算【単価は直近実績に基づき、老朽化を考慮し算出した。】

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	273					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
3 上永谷検車区庁用車 修理費	10

(1 事業目的・内容)

庁用車を修理する費用。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	10	10				20
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 新羽保守管理所 担当者: 幸田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増減(A-B)
予 算 額		368	

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
1 自動車点検整備 検車区	29
中期経営計画	-
<p>(1 事業目的・内容) 緊急の自動車整備に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える</p>	

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 幸田

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 自動車整備・修理	

中期経営計画 ー

(1 事業目的・内容)

応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。

国土交通省令に基づく点検

車 名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計
キャンター 800つ579	1年				

自動車修理	計
自動車修理	50

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)

応急車点検整備＝道路運送車両法(第62条)に基づく継続検査

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 所属: 川和保守管理所 担当者: 高橋

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	281	295	△ 14

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
1 その他修繕 部品材料 川和検修区	29

(1 事業目的・内容)

緊急のその他修繕に必要な部品・材料を購入するため川和保守管理所長に前渡する資金

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

前渡資金が有れば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 高橋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 自動車点検整備・修理	252

(1 事業目的・内容)

庁用車について、法令に基づく車両検査及び故障等の修理を実施するものです。
 国土交通省令に基づく点検
 ○横浜800せ5623(デュトロ)1台

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	265	252				517
債務負担設定						

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 30 車両保存費	所属: 総務課 担当者名: 石倉、大井

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	135	142	△ 7

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
49 備用品費	135	コピー用紙(BL保守管理所検車区)
合 計	135	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	所属: 総務課
目: 30 車両保存費		担当者名: 石倉、大井

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	54	9	45

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input checked="" type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	54	コピー用紙 (GL保守管理所検修区)
合 計	54	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所 属： 人事課
目：30 車両保存費	担 当 者 名： 星野

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	2,582	0	2,582

	ブルーライン
	グリーンライン
○	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
50 被服費	2,582	車両保存費支弁職員に対する被服貸与分(新規採用・異動・定期貸与)
合 計	2,582	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 人事課
目: 30 車両保存費	担当者名: 星野

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B	
予算額	368	2,247	△ 1,879	

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
63 委託料	368	空気環境測定調査等
合 計	368	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 人事課
目: 30 車両保存費	担当者名: 星野

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B	
予算額	453	2,135	△ 1,682	

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
49 備用品費	285	業務員関係物品
63 委託料	168	空気環境測定調査等
合 計	453	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費	所属：車両課 担当者名：吉田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額		53,715	

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
49 備品消費	1,522	防菌防藻剤、転倒防止棒、空調用添加剤、図書、文具、物品ほか
51 光熱水費	1,888	水道料金、ガス料金
56 旅費	576	1人当たり1か月@4,000-職員12名分
57 通信運搬費	123	電話回線使用料1か月当たり@10,000円(修繕・教育担当)、切手(90円切手30枚)
58 印刷製本費		車内路線図印刷
63 委託料	72,725	車両清掃、建物清掃、新羽車両清掃、環境調査、産業廃棄物処理、台車洗浄
64 手数料	419	クレーン性能検査、鉄道技術概論、車両部品のメンテナンス、鉄道技術基準
65 賃借料	270	複写サービス、資格認定に伴う会場使用料
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費	所属： 車両課 担当者名： 牧野、山田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B		
予算額		23,321			ブルーライン ○ グリーンライン 共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費		スリーボンド光触媒スプレー缶
63 委託料	23,543	車両清掃、川和車両基地検修庫環境調査委託ほか
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 電気課
目: 30 車両保存費	担当者名: 府馬

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	100,349	85,989	14,360

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
44 電力料	100,349	電気料金(基地内動力・検車及び工場用)
合 計	100,349	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属：電気課
目：30 車両保存費	担当者名：府馬

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B	
予算額	11,324	9,599	1,725	

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
44 電力料	11,324	電気料金(基地内動力用)
合 計	11,324	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費	所属： 上永谷保守管理所 担当者名： 今野 坪井 平塚

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	15,031	16,718	△ 1,687

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	1,028	検査用油脂類、ウエス
45 自動車燃料費	204	緊急自動車用ガソリン
49 備用品費	1,560	共通・小額物品、テキスト代、作業用雑貨・新採用備品、雪害対策用備品等
51 光熱水費	8,390	ガス料金、上・下水道料金
56 旅費	437	定例出張旅費、各種技能・資格講習旅費
57 通信運搬費	123	電話料金、切手代
63 委託料	2,100	事務所清掃費、産業廃棄物処分費
64 手数料	531	各種技能・資格講習費、印紙代
65 賃借料	518	寝具賃借料、複写サービス
68 保険料	75	緊急自動車任意保険料、自賠責保険料
73 自動車重量税	29	緊急自動車自動車重量税
96 雑費	36	有料駐車場代
合 計	15,031	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費	所属：新羽保守管理所 担当者名：幸田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増 減 A - B
予算額	10,376	10,126	250

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	1,272	オイル、グリス、タオルウエス、軽油、灯油、塗料
45 自動車燃料費	72	庁用車用ガソリン
49 備用品費	2,273	小額物品、事務及び作業用備品・消耗品、工具類
51 光熱水費	2,472	ガス・上下水道使用料金
56 旅費	187	市外・市内出張旅費、技能取得講習・資格取得講習・研修旅費
57 通信運搬費	63	電話料金、切手代
63 委託料	3,140	建物清掃、廃棄物処理、検車庫鳩駆除、検車庫ピット床清掃、検車庫事務室清掃委託
64 手数料	684	技能取得講習・資格取得講習・研修受講料、庁用車車検印紙代
65 賃借料	120	複写サービス料
68 保険料	75	庁用車自賠責・任意保険料
73 自動車重量税	13	庁用車重量税
96 雑費	5	有料駐車場利用料
合 計	10,376	

(2 編成するにあたっての考え方)

実績を基に算出

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費	所属：川和保守管理所 担当者名：高橋

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	9,122	8,253	869

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	478	軽油、ウエス
45 自動車燃料費	54	庁用車の燃料
49 備用品費	938	小額物品、共通物品等
51 光熱水費	3,997	水道代、白灯油
56 旅費	286	出張旅費
57 通信運搬費	156	電話料金、切手代等
63 委託料	2,206	建物清掃委託、産廃収集運搬及び処理等
64 手数料	538	各種講習会受講料及び各種免状交付料
65 賃借料	329	寝具及び複写機賃借料
68 保険料	75	庁用車自賠責保険料及び任意保険料
73 自動車重量税	29	庁用車自動車重量税
96 雑費	36	有料駐車場代
合 計	9,122	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)